



ライラに参加してロータリーの入り口に立つ

昨年スウェーデンで行われた2006年国際RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）に参加し、今年のソルトレイクシティーRI国際大会に先駆けて行われた2007年国際RYLAでカウンセラーを務めた2人のロータリアンがいます。

「25か国から124人の参加があった、昨年の国際RYLAが興味をもったきっかけです」とは話すカナダ・リッチモンドサンライズロータリークラブ（RC）のローレンス・チューさん（27歳）と「ロータリーにかかわり、RYLAのカウンセラーとして貢献し続けることができ、光栄に思います。RYLAの参加者は、国に帰り、自分たちの地域社会、国、そして世界のために地区のロータリークラブが行う奉仕活動に協力しようと思っています」と語るのは、ナイジェリア・マクルディRCのベルン・アイゴチェさん（30歳）です。彼はRYLAでの経験は参加者のみならず、生涯を通じて出会う人にも恩恵を与えると信じています。

ローレンスさんとベルンさんは、地区レベルのRYLAに参加しカウンセラーを務めただけでなく、インターアクト、ローターアクトも経験し長い間ロータリー家族の一員でした。二人とも、RYLAはロータリーの認識を高めるのに役立つと考えています。RYLAの行事に若い人（特にロータリーとまったく関係のない人）を誘うことで、ロータリアンはロータリーの活動を次世代に広めることができるのです。

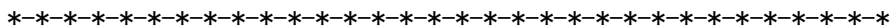
「今度ロータリーのロゴを目にしたたり、ロータリーの名前を耳にしたとき、参加したことがある人はきっとこう思うでしょう。“あ、私が参加したプログラムを催した組織のことだ！”と。たとえ彼らがロータリーに入会しなくてもロータリーやロータリーが行っていることにより感触を覚えてくれるでしょう」とローレンスさんは、話します。

ロータリージャパン

『ロータリーの友』では、「言いたい 聞きたい」「友愛の広場」などご投稿欄をいくつか設けており、みなさまからのご投稿をおまちしていません。投稿に際しての要項は、

<http://www.rotary.or.jp/contents.html>

から入り、画面左側にある「『友』の原稿をお待ちしています」の中の「ロータリーの友投稿規程」をご覧ください。



発行 ロータリーの友事務所

ホームページ <http://www.rotary.or.jp>

Eメール：ホームページについては/web@rotary-no-tomo.jp

編集については/hensyu@rotary-no-tomo.jp

